

サイドバンパー
その巻込防止装置は安全ですか？



セーフティーサイドパネル
Safety Side Panel



※写真の商品は撮影用特別仕様です

ダントツの高い安全性が一番の特徴!!

隙間の無いパネル形状で巻き込み防止率アップ!!

従来のアルミ材やパイプ等を複数段備える構造ではなく、サイドを全面カバーする事で安全性をさらに高めました。

車輦側面の空気抵抗を低減し走行安定性を向上!!

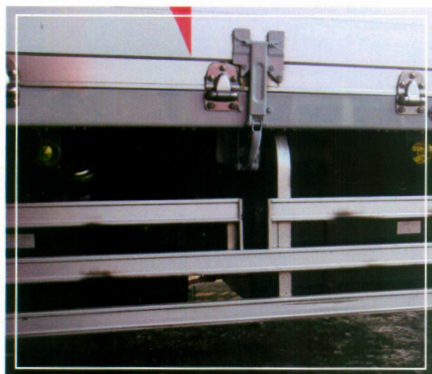
サイドパネルにより空気抵抗を低減し、燃費効率もアップします。

保安基準に適合した形状でより安全にカバー!!

給油口のスペースや整備性、工具箱の利便性を損なうことなく、より安全に機能を追求しました。

Safety Side Panel

今からおよそ30年前、昭和54年の保安基準一部改正に伴い、多発していた左折巻込事故の防止対策として巻込防止装置の取付が普通トラック等に義務付けられました。これは歩行者などの交通弱者を、主として内輪差によって、後車輪へ巻き込むことを防ぐための措置であり、改正後は巻き込み事故による死亡事故件数は激減しました。



現在まで多くの車輌に採用されてきた巻込防止装置の形状はスチールもしくはアルミ材のパイプや角材であり、これを複数段備えることで保安基準を満たすものでした。しかし、改正時から30年近い歳月がたった現在も当時の装置構造に比べ、その安全性において進歩を続けてきたとは言いがたいのではないのでしょうか。子供や高齢者、車イスなどの交通弱者が内輪差によって巻き込まれてしまったとき、2～3段の複数段で構成されている多くの巻込防止装置のすきまに腕や脚が入り込んでしまわないのでしょうか。自転車のハンドルや車イスがからまったりはしないのでしょうか。

万が一、巻込事故が起きたときでも、できるかぎり引っかかり部分を少なくして車輌から人や自転車を遠ざけるようなことができないか…。

被害者も運転者も運送会社も、誰一人として望まない結末からたった一人でも救うことができれば…

そんな想いから生まれました。

**「セイフティサイドパネル」
私たちの答えです。**



仕 様 寸法 : H 400mm × W 2500mm～4500mm 重量 : 5.7kg～9.8kg

特 徴

- ・ 従来、のサイドバンパーより面積が広く、ひっかかる部分もなく安全である。
- ・ 見た目がクリーンで清潔感があり、重量が軽く積載量にも優しい。
- ・ 車輌側面の空気抵抗を低減し走行安定性を向上。

お問い合わせ先：

製造販売元：



田坂鋼業株式会社 特販部

〒531-0076 大阪市北区大淀中2丁目4番9号
Tel: 06-6451-0066 Fax: 06-6451-1171
Mail: tasaka1@lily.ocn.ne.jp